

令和7年度 第2回（通算第59回）
山梨県立博物館 運営委員会 次第

令和7年8月7日（木）午後2時～4時
博物館 生涯学習室

開 会

1 あいさつ

2 議 事

〈 審 議 〉

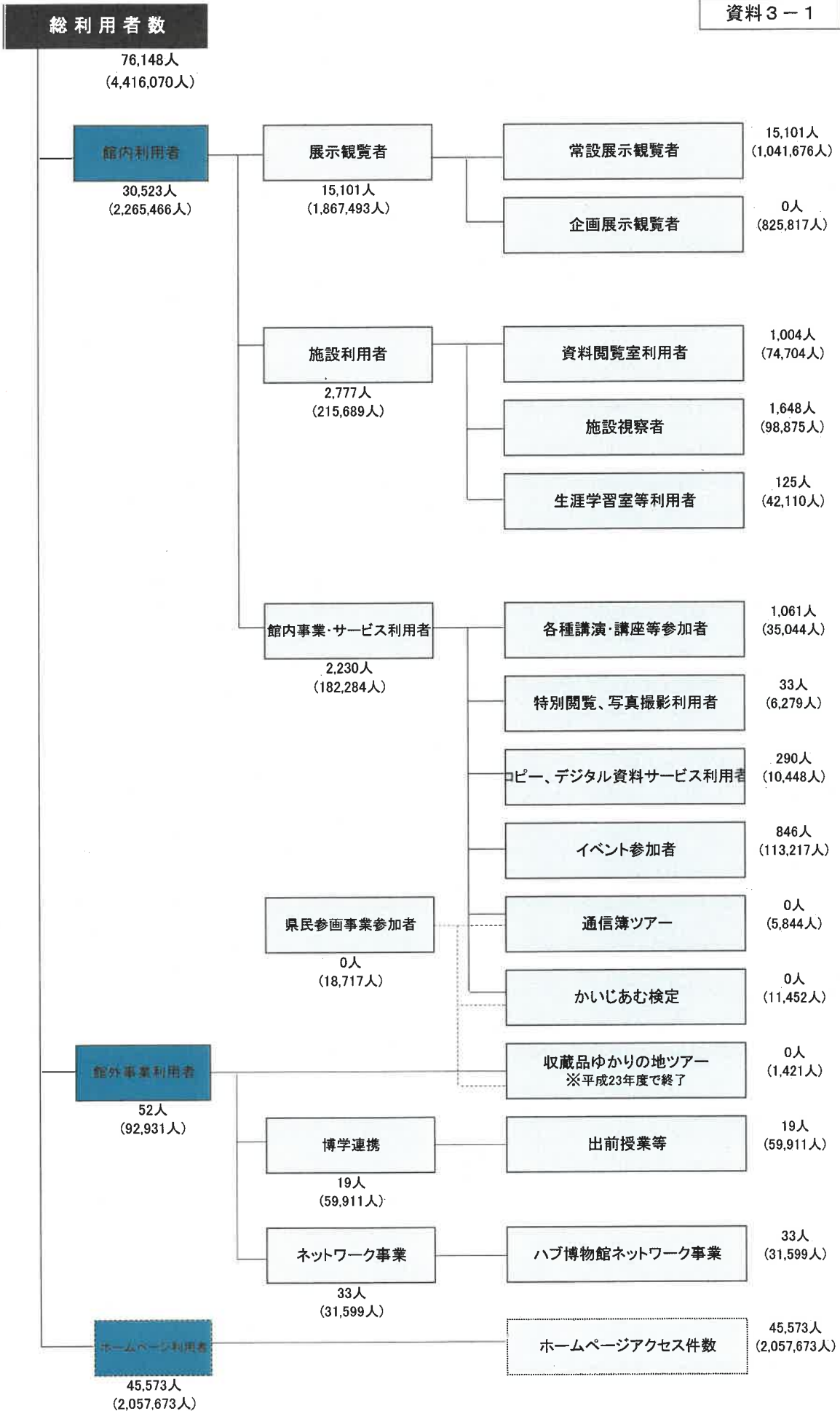
- (1) 令和8年度のシンボル展、令和9年度の企画展について 【資料1】
(2) 令和8年度の新規研究計画について 【資料2】

〈 報 告 〉

- (1) 令和6年度の利用者状況について 【資料3】
(2) 開催済み展覧会について 【資料4】
 ・シンボル展「国分寺」
 ・企画展「武田勝頼」
 ・シンボル展「甲府空襲」
(3) 資料・情報委員会の答申状況について 【資料5】
(4) 韓国清州博物館との交流展示について 【資料6】
(5) 山梨近代人物館の移転整備の状況について 【資料7】

3 その他

閉 会



※()内の数値は平成17年度分から令和6年度1月分までの実績数値の総計である。

令和7年6月30日現在

■開館年度(平成17年度)から令和7年度までの年度別統計

総利用者	館内利用者 (a+b+c)										館外利用者														
	展示利用者 (a)					施設利用者 (b)					館内事業・サービス利用者 (c)					施設利用者					館外利用者				
	常設展示 (件数)		企画展示 (件数)			貸出展示 (件数)		貸出展示 (件数)			特別企画・写真撮影等 (件数)		イベント参加者			運送ツアー		かじあひ判定		特別企画・写真撮影等の申し込み		特別企画・写真撮影等の申し込み		特別企画・写真撮影等の申し込み	
	利用者	施設利用者	利用者	施設利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者
17年度	143,415	114,412	98,576	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	262	151	0	28,570	0	28,570	0	28,570
18年度	221,107	149,254	124,182	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	195	156	156	1,100	1,100	70,402	70,402	
19年度	203,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	1,317	3,350	3,350	72,373	72,373	
20年度	169,893	97,551	73,419	49,634	23,785	12,461	4,754	4,262	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	180	1,076	1,076	1,525	1,525	69,561	69,561	
21年度	233,815	145,172	119,288	59,508	59,780	13,034	4,399	6,640	1,995	12,850	3,553	330	488	7,029	231	1,219	5,194	274	3,871	1,049	83,449	83,449	82,123	82,123	
22年度	231,369	145,518	112,363	56,505	55,858	17,855	4,060	11,718	2,077	15,300	2,937	83	444	11,121	188	527	3,728	141	2,670	917	754	84,159	84,159		
23年度	200,843	112,026	90,080	49,856	40,232	12,558	3,354	6,800	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	183	3,721	1,033	85,825	85,825	83,988	83,988	
24年度	200,181	107,246	86,685	49,341	37,354	11,120	2,983	4,769	3,368	9,431	3,003	306	427	4,633	183	879	7,110	0	6,077	1,033	85,825	85,825	83,988	83,988	
25年度	213,116	121,898	101,746	57,860	43,886	10,900	4,067	4,295	2,538	9,252	1,635	422	453	5,443	468	831	7,220	0	6,350	870	83,988	83,988	85,188	85,188	
26年度	200,624	108,888	92,621	47,119	45,502	9,334	3,609	3,373	2,352	7,933	1,139	278	359	5,312	364	481	5,348	0	4,740	808	91,483	91,483	94,696	94,696	
27年度	252,303	155,517	135,417	57,879	77,538	11,273	4,140	5,241	1,892	8,827	1,309	306	343	5,673	396	800	5,303	0	4,327	5,744	98,200	98,200	101,670	101,670	
28年度	202,665	97,898	75,051	41,133	33,918	9,405	2,924	4,569	1,912	13,442	2,105	335	545	9,431	267	759	10,071	0	4,207	2,439	98,200	98,200	101,670	101,670	
29年度	236,110	131,264	105,822	55,118	50,704	10,563	3,191	5,818	1,554	14,879	1,190	310	728	11,604	240	807	6,646	0	3,862	4,260	101,670	101,670	110,903	110,903	
30年度	221,157	111,365	89,066	45,437	43,629	11,097	3,483	5,142	2,472	11,202	1,241	818	725	7,253	400	765	8,122	0	4,701	4,785	110,903	110,903	110,903	110,903	
31・1年度	236,880	116,491	96,081	47,775	48,306	11,173	3,200	6,117	1,856	9,237	1,602	748	729	5,072	271	815	9,486	0	4,701	4,785	110,903	110,903	110,903	110,903	
3年度	148,748	36,078	31,602	20,669	10,933	2,599	67	2,240	292	1,877	185	400	100	627	278	287	1,953	0	1,953	0	110,718	110,718	146,798	146,798	
4年度	228,571	78,765	69,266	34,963	34,303	6,254	1,423	4,129	702	3,265	644	240	377	1,370	470	164	2,988	0	2,988	0	146,798	146,798	169,550	169,550	
5年度	267,334	95,740	80,035	42,870	37,185	8,398	2,382	5,416	600	7,307	1,403	209	387	4,467	400	441	2,044	0	1,575	469	169,550	169,550	165,507	165,507	
6年度	266,674	88,275	74,470	42,700	31,770	7,051	2,454	4,104	483	6,754	1,378	155	1,164	3,424	338	295	1,472	0	605	867	176,927	176,927	45,573	45,573	
7年度	76,148	30,523	25,516	15,101	10,415	2,777	1,004	1,648	125	2,230	1,061	33	290	846	0	52	0	0	0	19	33	45,573	45,573	2,057,673	2,057,673
計	4,416,070	2,285,468	1,887,683	1,041,676	825,817	215,689	74,704	98,875	42,110	182,264	35,044	6,279	10,448	113,217	5,844	11,452	92,931	1,421	59,911	31,599	2,057,673	2,057,673	45,573	45,573	

■31年度 県立博物館利用者状況(月別集計)

総利用者	館内利用者 (a+b+c)										館外利用者														
	展示利用者 (a)					施設利用者 (b)					館内事業・サービス利用者 (c)					施設利用者					館外利用者				
	常設展示 (件数)		企画展示 (件数)			貸出展示 (件数)		貸出展示 (件数)			特別企画・写真撮影等 (件数)		イベント参加者			運送ツアー		かじあひ判定		特別企画・写真撮影等の申し込み		特別企画・写真撮影等の申し込み		特別企画・写真撮影等の申し込み	
	利用者	施設利用者	利用者	施設利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者	特別企画・写真撮影等利用者
4月	27,419	10,658	8,225	6,108	7,152	1,389	504	838	27	1,069	657	11	126	75	0	0	10	0	0	10	0	17,351	17,351	15,380	15,380
5月	20,099	4,877	3,941	4,862	3,283	943	296	605	42	890	44	14	108	724	0	0	42	0	9	9	33	15,380	15,380	12,842	12,842
6月	17,519	4,677	3,941	3,941	0	465	204	205	56	271	160	8	56	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	76,148	30,523	25,516	15,101	10,415	2,777	1,004	1,648	125	2,230	1,061	33	290	846	0	52	0	0	19	33	45,573	45,573	2,057,673	2,057,673	

■31年度 県立博物館利用者状況(月別集計)

令和6年度 シンボル展
「甲斐国分寺」
終了報告

1. 概要

【内 容】

国分寺は、聖武天皇の命により全国に創建され、甲斐国では現在の笛吹市一宮町に建てられた。その後、鎌倉期に焼失、そして戦国期には再興され、大正11年（1922）に国史跡の指定を受けて現在に至っている。特に近年、甲斐国分寺跡の発掘調査が進み、創建時の姿やその後の地域との関わりについて、新たな知見が得られている。本展では、最新の発掘調査成果を踏まえた国分寺の創建時の姿とともに、創建から現代までの国分寺と地域の関係の移り変わりについて紹介した。

【期 間】 令和6年12月21日（土）～令和7年2月24日（月）
会期日数66日間（開館日数50日間）

【主 催】 山梨県立博物館

【観覧料】 常設展観覧料に同じ※（）内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引
一般520円（420円）、大学生220円（170円）

【展示資料】 寺本廃寺出土軒丸瓦・軒平瓦（笛吹市教育委員会）、東畑遺跡出土小金銅仏
（甲府市教育委員会）、松ノ尾遺跡出土小金銅仏（甲斐市教育委員会）、国
分寺出土軒丸瓦・軒平瓦・墨書土器（笛吹市教育委員会）、武田家朱印状（護
国山国分寺）、薬師経石（護国山国分寺）、国分寺由緒書（護国山国分寺）
ほか 以上約80件

【関連イベント】

○講演会「国分寺建立と人々」

講師：末木健氏（山梨県考古学協会名誉会長）

日時：1月26日（日） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：137名

○古文書講座「国分寺」

日時：2月22日（土） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：62名

○かいじあむ講座「国分寺が山梨の宝になった日」

講師：石神孝子（当館企画交流課長）

日時：1月19日（日） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：51名

○かいじあむ講座「中世以降の甲斐国分寺」

講師:茶園紘己(当館学芸員)

日時:2月16日(日) 13:30~15:00

場所:生涯学習室

参加者:44名

○ギャラリートーク

日時:12月21日(土)、1月25日(土) いずれも15:00から30分程度

場所:企画展示室

○あそぼう!まなぼう!寺子屋広場 いずれも11:00から30分程度

- ・12月22日(日)折り紙で国分寺七重塔を作ろう 参加者:6名
- ・2月9日(日)甲斐国分寺の鬼瓦プラバンストラップを作ろう 参加者:20名
- ・2月16日(日)蓮華もよりの軒丸瓦の首かざりを作ろう 参加者:15名

○甲斐国分寺めぐり(笛吹市教育委員会共催)

日時:1月18日(土)、2月15日(土) いずれも13:30~15:00

場所:史跡甲斐国分寺跡

参加者:30名(1/18)、31名(2/15)

○国分寺シンポジウム(笛吹市教育委員会共催)

日時:2月1日(土) 13:00~16:30

会場:生涯学習室

参加者:93名

○NPO事業「シンボル展 甲斐国分寺展 ゆかりの地ツアー」(外部委託事業)

日時:2月9日(日) 第1部:9:30~12:30(現地ツアー)

第2部:15:30~16:00(ギャラリートーク)

場所:史跡甲斐国分寺跡(第1部)、企画展示室(第2部)

参加者:35名

【発行物】 ・リーフレット A4・4頁 3000部(無償配布)

2. 入場者数

【総入場者数】 4,440人(1日平均 約88人)

3. 広報

【印刷物】

- ・ポスター (B2サイズ) 600枚
- ・ちらし (A4サイズ) 20,000枚

4. 総括

- ・国分寺という対象を、考古学、歴史学双方の観点から紹介することにより、史跡としての国分寺という側面にとどまらず、地域の中における寺社としての展開や、史

跡となっていくにあたっての地域の人々との関わりなど、多面的に紹介した。複数の専門分野の学芸員が存在する博物館ならではの展示を提供することができた。

- ・「甲斐国分寺めぐり」「国分寺シンポジウム」を会期中に当館で開催するなど、笛吹市教育委員会と連携して実施した。展覧会における各自治体との連携のあり方について、ひとつのモデルケースとすることができた。

開館20周年記念特別展
「武田勝頼 日本に隠れなき弓取」
終了報告

1. 概要

【内容】

武田信玄の後継者となった武田勝頼（1546～82）については、武田氏滅亡時の当主であったことや、父信玄の偉大な業績と比較されて、これまで「暗君」のイメージが強く残されていた。しかし近年、勝頼に対する評価の見直しが進められ、新たな勝頼像が提示されるようになった。

本展は、武田勝頼の生涯を関連資料から振り返るとともに、近年の研究成果をもとにその人物像に迫る展示とした。勝頼の合戦としてとくに著名な長篠合戦（2025年＝戦後450年）や、新たな居城として築かれた新府城についても、発掘調査の成果をもとに、明らかになってきた城の姿を紹介します。

【期間】 令和7年3月15日（土）～5月6日（月）
会期日数53日（開館日数47日）

【主催】 山梨県立博物館、山梨日日新聞社、山梨放送

【観覧料】 一般1,000（840）円、大学生500（420）円
※（ ）内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引
※ 常設+企画共通 一般1,260円、大学生590円

【主な展示資料】

「武田勝頼妻子像」（高野山持明院蔵）、「武田勝頼像」（恵林寺蔵・信玄公宝物館保管）、「諏方勝頼判物」（個人蔵・伊那市立高遠町歴史博物館寄託）、「梵鐘」（塩尻市指定文化財・小野神社蔵）、「紅糸威最上胴丸」（静岡県指定文化財・富士山本宮浅間大社蔵）、「武田勝頼起請文」（京都大学総合博物館蔵）、「織田信長書状」（長野県立歴史館蔵）、「武田勝頼書状」（東京大学史料編纂所蔵）、「長篠合戦図屏風」（犬山市指定文化財・犬山城白帝文庫蔵）、「新府城出土品・隠岐殿遺跡出土品」（韮崎市教育委員会蔵）、「織田信長朱印状」（個人蔵・茨城県立歴史館寄託）、「武田勝頼書状」（国宝・米沢市上杉博物館蔵）、「武田勝頼夫人願文」（山梨県指定文化財・武田八幡宮蔵）、「武田勝頼妻子像」（景德院蔵）、「武田勝頼墓所出土経石」（甲州市教育委員会蔵）等 111件。

【関連イベント】

○記念講演会

第1回「温泉から出て裁判をした勝頼」

講師：笹本正治氏（長野県立歴史館特別館長）

日時：3月23日（日） 13:30～15:00

場所：生涯学習室

参加者：158名

第2回「勝頼と長篠合戦」

講師：平山優氏（健康科学大学特任教授）

日時：4月19日（土） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：400名

第3回「新府城『半造作』を考える」

講師：関間俊明氏（韮崎市教育委員会）

日時：4月29日（火・祝） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：200名

○かいじあむ講座「概説 勝頼の生涯」

講師・海老沼真治（当館学芸員）

日時：4月13日（日） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：196名

○新府城ウォーキング

第1回「一勝頼の集大成—新府城を歩く」

日時：4月12日（土） 10：00～12：00

場所：国史跡新府城跡前広場（集合）

参加者：20名

第2回「新府の城下を探る」

日時：4月12日（土） 10：00～12：00

場所：国史跡新府城跡前広場（集合）

参加者：18名

【発行物】 図録 A4変形・144頁 800部（館内用）

2. 入場者数

【入館者数】 15,466名（1日平均入館者数：329名）

3. 広報

【印刷物】 ・ポスター B2 1000枚

・ちらし A4 30,000枚

【マスコミでの紹介】 ・新聞記事（山日新聞 連載など）

4. 総括

- ・武田勝頼を主題とする初めての企画展であり、知名度やイメージは父信玄に及ばないと思われたが、開館15周年記念特別展「生誕500年 武田信玄の生涯」に匹敵する規模の

ご来場をいただいた。近年の勝頼研究の進展を背景として、関心が高まっていることがうかがわれた。

- 内容面では、「長篠合戦図屏風」の出品、景德院に伝わる「武田勝頼妻子像」の出品と新たな墨書銘の確認によって大きな注目を集めることができた。また勝頼が家督相続直後に出した起請文や、武田氏の命運を決定づけた高天神城に関わる織田信長の朱印状といった、展示物としては比較的地味なものにも多くの関心が寄せられた。
- 図録は共催者である山梨日日新聞社の配慮により、書店販売できる形での出版とすることができ、ミュージアムショップだけでも1200冊以上の販売があった。
- 講演会、講座は各回とも盛況であった。そのため総合教育センター大研修室での実施も検討したが、センターの方針で他施設への貸出が停止されたため、やむなくサテライト会場の設置などで対応したが、特に4月19日の講演会は定員を大幅に超過し、参加者から不満の言葉も出た。今後、大規模な講演・シンポジウム等を開催する場合には、会場の確保が課題となる。
- 15周年で武田信玄、20周年で武田勝頼と、武田氏の主要な人物に関する展示を開催することができた。今後、戦国時代・武田氏関連の展示を行う際には、より多角的な視点によるテーマを検討していきたい。

令和7年度 シンボル展
「甲府空襲」
終了報告

1. 概要

【内容】

今夏に戦後80年を迎えることから、戦時下の本県において最大の死者を出した甲府空襲を紹介する展示を実施した。展示品の内容は、当館が開館20年間において収集してきた戦争関係資料とともに、県立考古博物館や甲府市が所蔵している発掘された焼夷弾のほか、その被熱によって溶融したガラスや焼き物、金属といった被災関係資料を多く紹介した。展示のコンセプトについては、山梨と戦争全般を紹介するのではなく、「空襲」に焦点をあわせることで、展示利用者に戦争を「自分ごと」として考えていただくことを目指した構成とした。あわせて開催した普及事業においては、展示と同様に歴史分野だけでなく、考古分野の担当者による講座も実施し、文献と考古資料の両面から戦災の実態に迫る展覧会として実施することができた。

【期間】 令和7年5月24日（土）～6月30日（月）
会期日数38日（開館日数33日）

【主催】 山梨県立博物館

【観覧料】 常設展観覧料
一般520（420）円、大学生220（170）円 1
※（ ）内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引

【展示の構成とおもな展示資料】（特に注記がないものは当館蔵）

- 第1章 地域と軍隊
M69 油脂焼夷弾（県立考古博物館蔵）、四斤山砲の弾、日清・日露戦没者の弔辞、甲府連隊関連資料、防空法関連資料
- 第2章 本土空襲と山梨
E46 集束焼夷弾頭、焼夷弾によって被熱した戦災廃棄物、米機の撒いた宣伝ビラ、警防団関係資料、空襲後の被害状況綴
- 第3章 山梨の人々の戦争体験
寄せ書き日章旗、軍服、小医療箱甲、海軍水兵襟、戦地からの軍事郵便

合計30点

【関連イベント】

- かいじあむ講座① 「山梨県内の戦争遺跡」
講師：石神孝子（当館企画交流課長）
日時：6月1日（日） 13：30～15：00
場所：生涯学習室
参加者：26名

○かいじあむ講座② 「警防団資料からみる甲府空襲」

講師：小畑茂雄（当館学芸員）

日時：6月15日（日） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：31名

○かいじあむ講座③ 「塩部遺跡（甲府工業高校）で出土した焼夷弾から考えたこと」

講師：村石眞澄氏（富士河口湖町史編纂室長）

日時：6月29日（日） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：41名

○学芸員によるギャラリートーク

日時：5月24日（土）、6月14日（土）、6月30日（月）

15：00～16：00

場所：企画展示室

【刊行物】 リーフレット A4版・4頁 3,000部（無料配付）

2. 入場者数

【入館者数】 5,289名（1日平均入館者数：160.3名）

3. 広報

【印刷物】

- ・ポスター（B2サイズ） 600枚
- ・ちらし（A4サイズ） 20,000枚

【マスコミでの紹介】

- ・別添の新聞記事のほか、NHKやYBSのニュースでも多く取り上げられた。

4. 総括

- ・前述のように展示の構成は、文献を中心とした歴史資料と発掘された焼夷弾などの考古資料のミックスとし、片方のみでは得られない資料の情報や印象の増幅効果を発揮することができた。
- ・床や壁面のグラフィックは、空襲の規模を感じられる構成を目指した。焼け野原に残る岡島百貨店の旧店舗の写真を壁面の大型写真グラフィックとすることで、空襲の被害の大きさや臨場感を演出し、床面の焼夷弾1発の被災範囲および甲府空襲の被災地範囲地図グラフィックにおいては、空襲という面的な情報を効果的に床面に表現して、展示利用者の理解を促進するものとし、ある程度は3次的に展示を表現することができた。
- ・普及事業としては、歴史と考古分野の講座を実施したほか、ギャラリートーク最終日は平日（月曜日）におこない、新たな需要を広げるうえでの試行的な開催とした。これらの参加者数は講座

(平均 20 人程度) よりも、ギャラリートーク (平均 30 人程度) の方が多い傾向がみられた。

- 広報については、展示期間の初頭に NHK と YBS の夕方のニュースに取り上げられたことが効果的であった。新聞などの紙媒体においても継続的に取材があり、戦後 80 年の話題性に乗ることができた展覧会となった。
- 集客面では前項の話題性もあって、コロナ以後のシンボル展のなかでは最多の利用者数となり、コロナ以前からの初夏開催シンボル展の平均 (127.5 人/日) を 25% 程度上回った。

資料・情報委員会の答申状況について

1. 令和6年度 資料・情報委員会委員一覧(50音順、敬称略)

氏名	専門分野	肩書
新井 勝紘	日本近代史	元専修大学教授
黒田 基樹	日本中世史	駿河台大学法学部長
小島 孝夫	民俗学	成城大学教授
鈴木 卓治	情報工学	国立歴史民俗博物館教授
鈴木 麻里子	日本美術史（彫刻）	山梨県文化財保護審議会委員
内藤 正人	日本美術史（絵画）	慶應義塾大学教授
新津 健	考古学	元山梨県埋蔵文化財センター所長
西村 慎太郎	日本近世史	国文学研究資料館教授

※任期は2年間（R6.5.1～R8.4.30）

2. 令和6年度 第2回(通算第39回)委員会の内容

【開催日時】令和7年3月21日（金）14:00～16:00

【出席者】新井勝紘委員・小島孝夫委員・鈴木卓治委員・鈴木麻里子副委員長・
内藤正人委員・新津健委員長
※西村慎太郎委員は欠席

【審議内容】

資料の収集について

10件（約1,064点）の収集資料候補（購入・寄贈・寄託）についての審議を行った。

【審議資料】

(1) 購入 3件

1	武田晴信書状（年未詳3月10日付）	1通	武田晴信（信玄）が、高野山成慶院から贈答品が届けられたことを謝すとともに、返礼として黄金を贈ることを伝えた書状。
2	武田信玄自筆書状（4月14日付、春日弾正忠あて）ほ	1点	武田信玄から春日虎綱へ発給された自筆書状。上杉輝虎の沼田での動向に関連した、武田信玄と信濃国・上野国の国衆の軍事行動について記されている。

	か		
3	秋蠶 ^{あきぐ} と風穴	1冊	大正11年(1922)に行われた、山梨県立農林学校の養蚕実習の記念写真アルバム。

(2) 寄贈 5件

1	薬師如来坐像 木喰作	1 軀	江戸時代の本県出身の作仏聖である木喰(行道、五行、明満)が制作した薬師如来像。背面に記された寛政13年(1801)11月7日の日付から、木喰が山梨に建立した四国堂のために制作された像であることがわかる。
2	長田家資料 ^{おさだけ}	3 点	甲府市西下条の長田家に伝わる絵画資料類。高麗風の阿弥陀如来坐像と銭選の卷子の写しと思しきもの、および狩野永淑の屏風からなる。
3	馬関係資料	15 点	甲府市古閑町に在住し、馬を使って市川大門まで炭などの輸送を行った池谷家が所蔵した馬の荷鞍や、螺鈿を施した婚礼用の鞍など。
4	河内家資料 ^{こうちけ}	40 点	甲府に駐屯した歩兵第四十九聯隊の第4代連隊長河内信彦(こうちのぶひこ 1866-1942)の関連資料。退任時に連隊長である河内へ贈呈された写真アルバムをはじめ、古写真や文書、功勳に関する資料から構成される。
5	小医療箱 甲	1 点	日本海軍で使用された医療品の入った箱。南洋諸島のパラオに勤務した所蔵者の大叔父にあたる人物の所持品。箱の側面に戦闘機の機銃の弾痕がある。

(3) 寄託 2件

1	蔵王権現鏡像	1 面	山梨市にある金櫻神社(杣口)の本殿内に安置される鏡像。金峰山の主尊である蔵王権現の姿を中央に表す。山梨県指定文化財。
2	石川博氏収集資料	約 1,000 点	山梨の郷土史研究者であった故石川博氏が収集した資料群。武田氏などについて記された近世の和本や錦絵、近代になって出された山梨の風景写真や絵ハガキなどからなる。

【審議結果】

すべて収集が適正であると判断され、3月24日付けで答申が出された。

韓国・国立清州博物館の交流展示について

1. 経緯

- 平成20年に清州博物館との間で学術交流協定を締結。以降、協定期間を延長し、現在は第5次協定期間（～令和7年11月）中である。
- 平成25年から29年まで、各館とも各年2名ずつ職員が相手国を訪問し、調査・関連施設の視察等をおこなってきた。
- 平成30年は協定締結から10周年となり、同年11月9日に清州博物館において10周年を記念する学術シンポジウム「忠清北道と山梨県の中世仏教文化」を開催した。
- 令和2年3月以降、新型コロナウイルスのため交流を一時中断したが、令和5年9月から再開する
- 令和6年4月、清州博物館のイ・ヤンス館長が山梨を訪問し、「日韓国交正常化60周年記念交流展示に関する大韓民国国立清州博物館と日本国山梨県立博物館の間の了解覚書」を締結。以後、特別展に向けた準備を進めている。

2. 内容

- テーマ：富士山に登る、山梨（韓国語名称：후지산에 오르다, 야마나시）
- 会期：2025年9月4日から12月28日まで
- 会場：国立清州博物館 企画展示室
- 展示内容：山梨の歴史・文化を総合的に紹介できるテーマを取り上げ、関連する資料を展示する。
 - プロローグ「富士、神と出会う霊験あらたかな山」
 - 第1部「今、一歩ずつそして共に：協力の物語」（両館の協力関係や浅川兄弟による交流）
 - 第2部「山への第一歩、自然に宿る山梨の原風景」（主に縄文）
 - 第3部「山に囲まれた中腹：山梨、仏教と武士の時代」（主に古代中世）
 - 第4部「大衆文化の復興と浮世絵：山と共に花開いた文化」（主に近世近代）
 - エピローグ「山梨の今日と明日：江戸から続く夢」
- 展示資料
 - 葛飾北斎 富嶽三十六景（山梨県立博物館）、甲州道中図屏風（山梨県指定文化財、山梨県立博物館）、酒呑場遺跡出土 深鉢形土器（重要文化財、山梨県立考古博物館）、甲斐国分寺跡出土瓦（笛吹市教育委員会）、石の坪遺跡出土 土偶（韮崎市教育委員会）他 73件
- 今後の業務予定
 - ・出品資料の検証、梱包、輸送（8月17日～27日）
 - ・清州博物館での展示作業立ち会い（8月28日～9月3日）
 - ・開会式への出席（9月4日、県立博物館、県立考古博物館の両館長）
 - ・両館長による講演会（9月5日、仮テーマ「富士山の信仰と美術」（守屋館長）、「山梨の縄文文化」（高橋館長））

令和 7 年 8 月 7 日
県立博物館運営委員会資料

県立博物館への山梨近代人物館機能移設の進捗状況について

やまなしひとタッチアーカーカイブ ビジュアル案



待機素材



人物選択画面

■ 移設案


詳細画面 画面構成

< ウェブ画面 例 >

鉄道発展に貢献した「明治の鉄道王」

あのみや けいじろう

雨宮 敬次郎



生年: 1871年(明治4年) 没年: 1931年(明治44年)

出身地: 愛知県豊田郡豊田町(現豊田)

職歴: 豊田製鐵所主任(豊田製鐵所)

栄典: 勲三等勲章(1917年)

著書: 明治の鉄道王

⑤ 出展の項目追加

② 解説文も含めてスクロールできるように(現状デザインのままだ)

③ 生没年を2段にして、生年・没年という表記にする


④ 関連人物という表記を(関連スポンジに変更) (それに準い上部の関連スポンジの表示も無し)

① 関連人物という表記を(関連スポンジに変更)

鉄道発展に貢献した「明治の鉄道王」

あのみや けいじろう

雨宮 敬次郎



生年: 1871年(明治4年) 没年: 1931年(明治44年)

出身地: 愛知県豊田郡豊田町(現豊田)

職歴: 豊田製鐵所主任(豊田製鐵所)

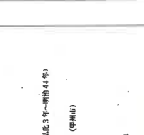
栄典: 勲三等勲章(1917年)

著書: 明治の鉄道王

鉄道発展に貢献した「明治の鉄道王」

あのみや けいじろう

雨宮 敬次郎



生年: 1871年(明治4年) 没年: 1931年(明治44年)

出身地: 愛知県豊田郡豊田町(現豊田)

職歴: 豊田製鐵所主任(豊田製鐵所)


栄典: 勲三等勲章(1917年)

著書: 明治の鉄道王

鉄道発展に貢献した「明治の鉄道王」

あのみや けいじろう

雨宮 敬次郎



生年: 1871年(明治4年) 没年: 1931年(明治44年)

出身地: 愛知県豊田郡豊田町(現豊田)

職歴: 豊田製鐵所主任(豊田製鐵所)

栄典: 勲三等勲章(1917年)

著書: 明治の鉄道王

タブの階数は自由に設定できますが、押しやすさとして5-6個程度を推奨しています。

- ・スクロールの位置(範囲)は自由に設定できます。
- ・ルビは文書中のルビと一致させる必要があります。Excelの原稿上で記入が必要です。
- ・人物解説文をタブ上に固定表示する場合、250文字程度を推奨いたします。

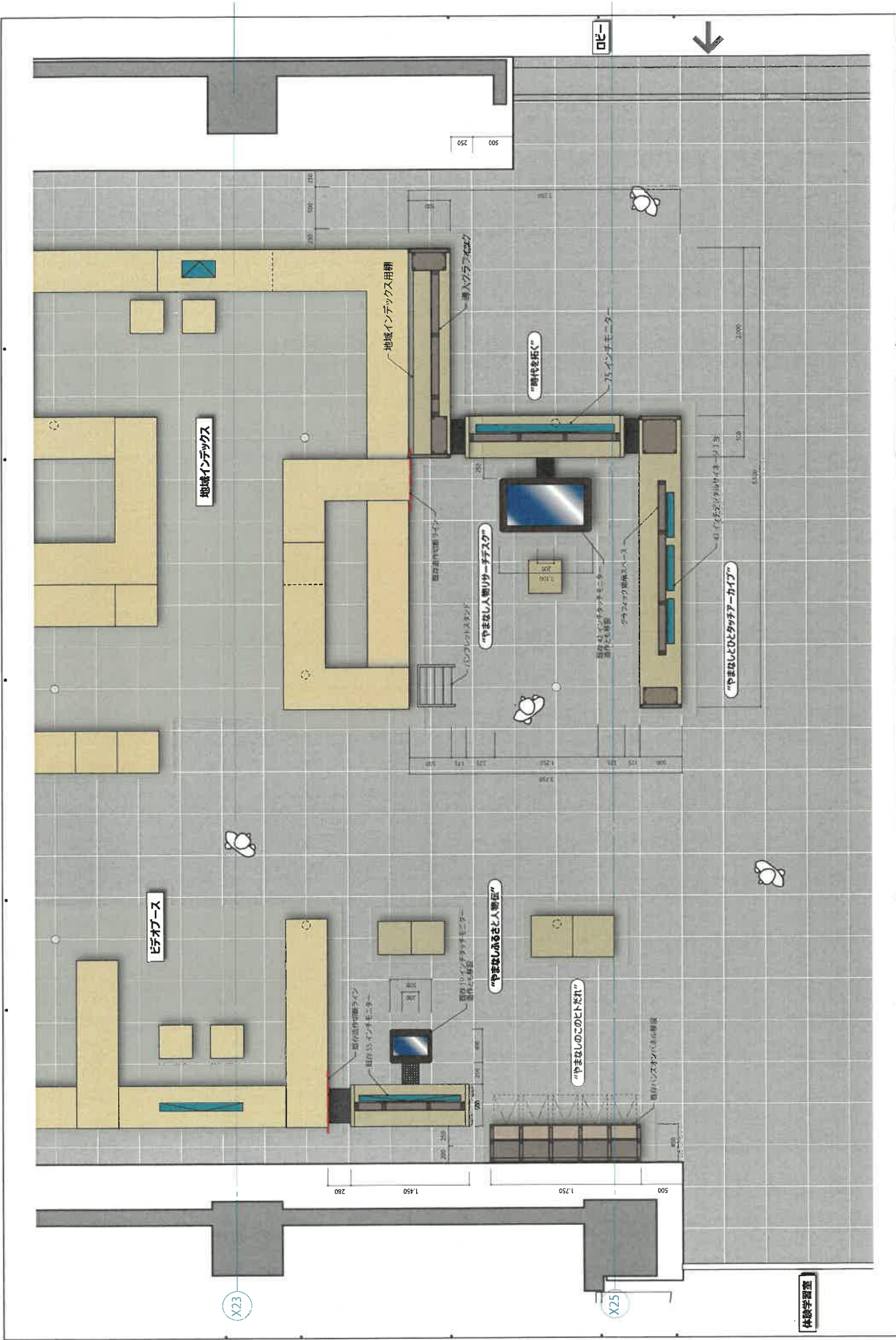
※ 画面は検討中のものです。

業務工程表

業務名：山形県民人形館修繕業務
 業務場所：山形県立博物館内
 着手日：
 竣工日：

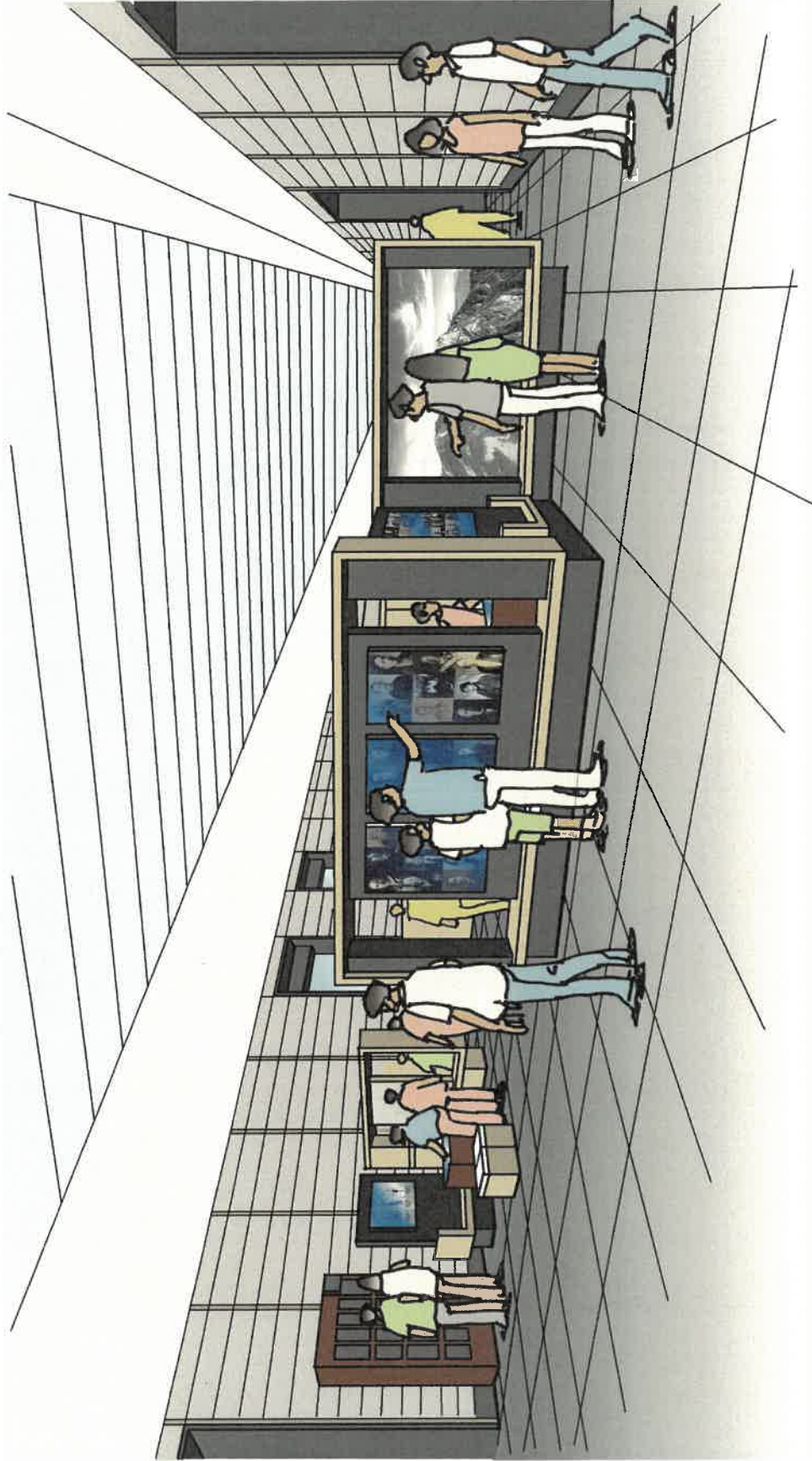
記入日：令和7年9月21日(金)
 修正日：令和7年8月1日(金)

項目	2025年												備考	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月						
行事														
基礎工程														
造作・仕器														
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建具、仕器製作 ・ 建具、仕器製作 現場施工 ・ サイン・グラフィック 出力 ・ サイン・グラフィック 現場施工 														
【現場施工】														
仮設工事														
造作工事														
電気工事														
ソフト工事														
グラフィック工事														
AVシステム														
映像コンテンツ														
<ul style="list-style-type: none"> ・ タッチアスキー ・ その他ソフトコンテンツ 														
グラフィック版下データ制作														
<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示グラフィック ・ サイン関係 ・ HP/バー 														
特記事項														

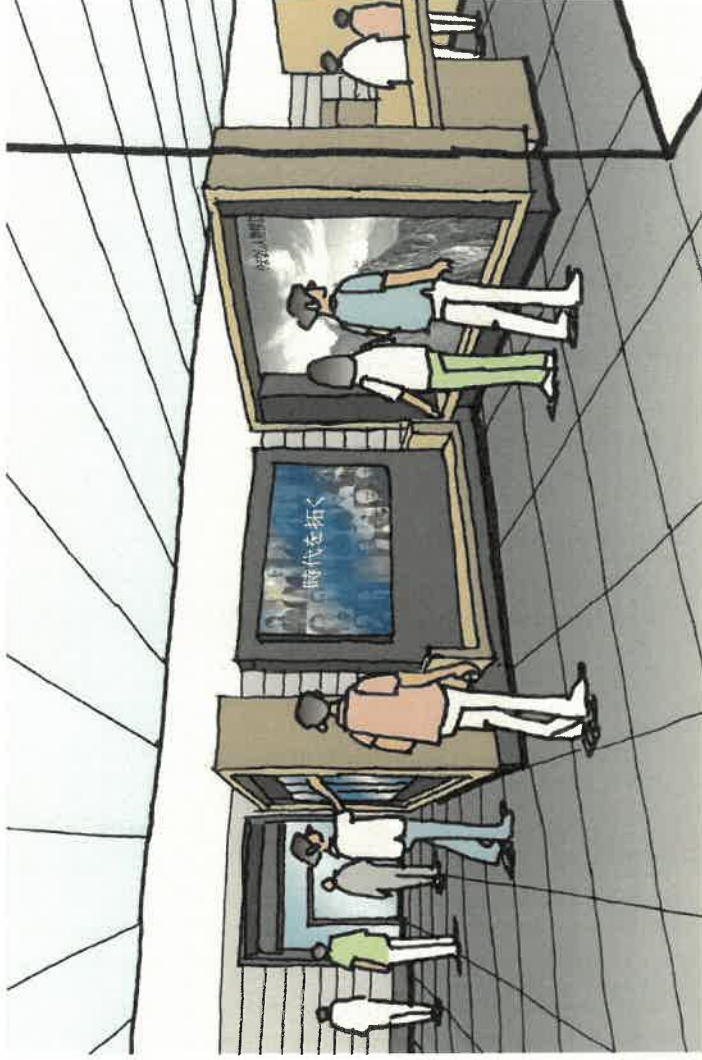


図面番号	07
図名	詳細平面図
縮尺	1/40
日付	2025.03.21
設計	
校閲	
承認	
山梨近代人物館移設業務	
図面コード	

●“やまなしとひとタッチアーカーカイブ”を中心に全体スケッチ



●入口から“時代を拓く”



●“やまなし人物リサーチデスク”

